

【農業水利施設の魅力を知ってほしい(No.23);神話の里を流れる用水路は岩樋が特徴(2025年3月)】

農地基盤情報研究領域 地域防災グループ上級研究員 廣瀬 裕一

今月は、島根県出雲市の出雲平野を受益地とする高瀬川を紹介する。高瀬川は江戸時代に大梶七兵衛が私財を投じて開削した灌漑用水路かつ舟運に用いられた運河であり、かつ出雲平野が木綿の産地であったことから藍染も盛んにおこなわれ、その工程で高瀬川の水が活用された。

高瀬川は斐伊川を水源とする。斐伊川は古事記の八岐大蛇説話にあるように、氾濫によって流域が被害を受けることが多い特徴があった。また、斐伊川上流ではたたら製鉄が盛んで、その影響で斐伊川下流では大量の土砂堆積をもたらした。この斐伊川と神戸川によって形成された沖積平野が出雲平野である。

高瀬川を開削した大梶七兵衛の業績を中国四国農政局のHP

(<https://www.maff.go.jp/chushi/kj/tyutyo/column/c2.html>) を引用して紹介する。

大梶七兵衛は、1621年に出雲の豪農の家に生まれた、荒木浜における植林、高瀬川の開削など、出雲平野の開発に尽力した人物である。海からの強風が影響して荒地となっていた荒木浜に、大梶七兵衛は植林をして農地として利用できるようにした。次にその荒木浜を受益地とする用水路を斐伊川から取水する用水路を計画した。荒木浜は砂地のため用水が地中に浸透するため、籾に粘土を固めて敷き詰めることで用水の地中への浸透を防止し高瀬川を開削した。

今回紹介するエリアを図1に示す。なお文中の地図は、地理院タイルに写真位置番号等を追記して掲載したものである。

1. 来原岩樋と高瀬川（斐伊川左岸）

大梶七兵衛によって開削された高瀬川は、現在は来原岩樋（写真 1-A、1-B）で斐伊川から取水している。元々、高瀬川は木製の樋によって取水されていたが洪水時の決壊リスクを避けるために、1700年に岩山の下を幅2.6m高さ4.2mの穴を9.1m堀抜いて、高瀬川と間歩川との分水工となる池に導水した。かつて、岩樋は斐伊川と高瀬川をつなぐ高瀬舟が通り、3つのゲートで河川と高瀬川との水位差を調整して舟を通過させる閘門式構造が導入された。

高瀬川は来原岩樋から写真 1-Cにあるような山裾を流下すると、写真 1-Dにあるような市街市を通過する。付近には藍染の染工場があり、その製造工程で高瀬川の流水が活用されたようである。高瀬川はこの先出雲大社まで受益地として日本海に流れ出る。JR出雲市駅近くの高瀬川は景観に配慮した整備がされているので、出雲大社への観光の際に立ち寄ってほしいところである。

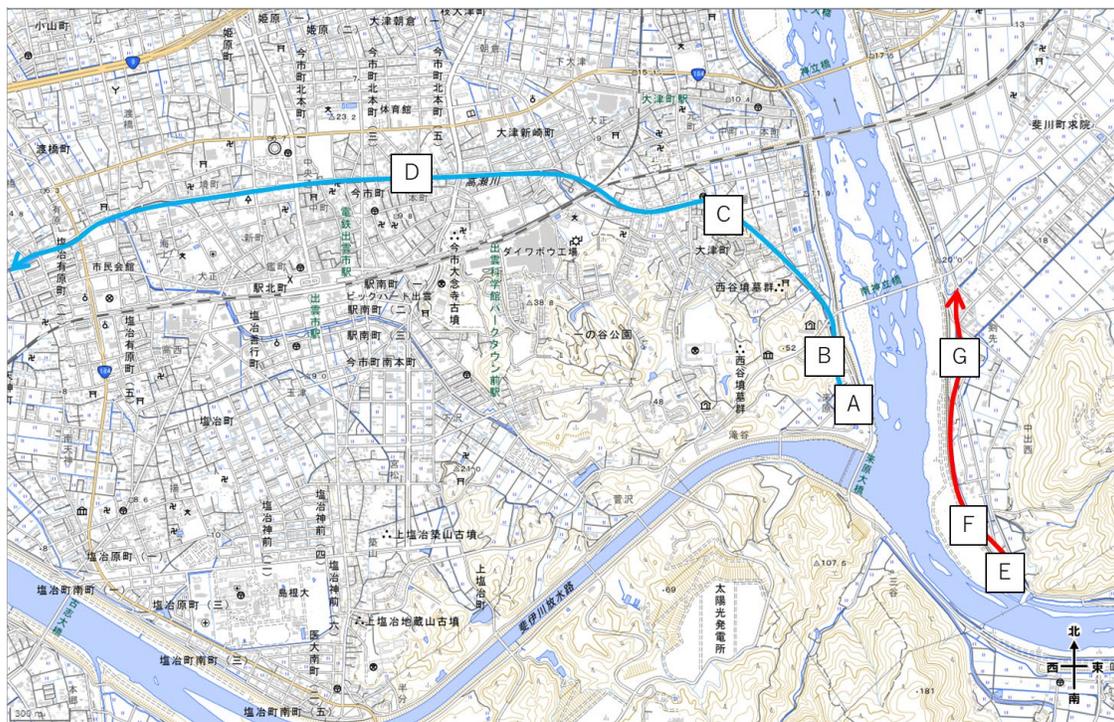


図1 今回紹介する施設・場所（その1）



写真1 今回紹介する施設・場所（その1）

2. 出西岩樋と高瀬川（斐伊川右岸）

来原岩樋と斐伊川をはさんで対岸に、出西岩樋（写真 2-E、2-F）がある。説明によれば、出西岩樋は 1685 年に松江藩の竜野九郎左エ門を責任者として 6 年をかけて完成した岩樋である。来原岩樋と同様に 3 つのゲートによる閘門式構造で高瀬舟を通したようである。斐伊川の右岸側と左岸側の両者とも、水路が高瀬川と呼ばれていることは興味深い。なお現在は閘門式構造が撤去されている。

斐伊川右岸川高瀬川は、取水地点からほどなく写真 2-G にあるように、水路内に隔壁が設けられ、それぞれ異なる受益地へと流下していく。こちらは近隣に出西窯があり、個人的には特に藍色の陶器が印象に残った。用水路散策と合間に出西窯の製品を見るのも良いと思う。



写真 2 今回紹介する施設・場所（その 2）

3. 旧神戸堰

旧神戸（かんど）堰（図2、写真2-H）は、斐伊川より西を流れる神戸川にかつてあった頭首工である。中国建設弘済会（ <http://www.ccba.or.jp/archives/pdf/18.kandozeki.pdf> ）から引用すると、神戸川上流域は古くからたたら製鉄が盛んで、そのことが下流域への堆砂につながり河床が高くなっていたが、たたら製鉄の衰退に伴い大正時代には河床が低下し、農業用水の取水が困難になった。また、旧来の堰は洪水のたびに破壊されたことから、昭和3年にここで紹介する旧神戸堰が完成した。この堰は鉄筋コンクリート連続アーチ式で中央に魚道、両端に土砂吐用の水門があった。連続アーチ式を採用した理由は、当時コンクリートが高価な資材でコンクリートの使用量を減らすためだったようである。その形状は他にはない、独自のもののようである。

現在は新しく可動堰に更新され、写真2-Hにあるものは、可動堰直下に再現されて設置されている。JR 西出雲駅から旧神戸堰まで徒歩40分程度である。

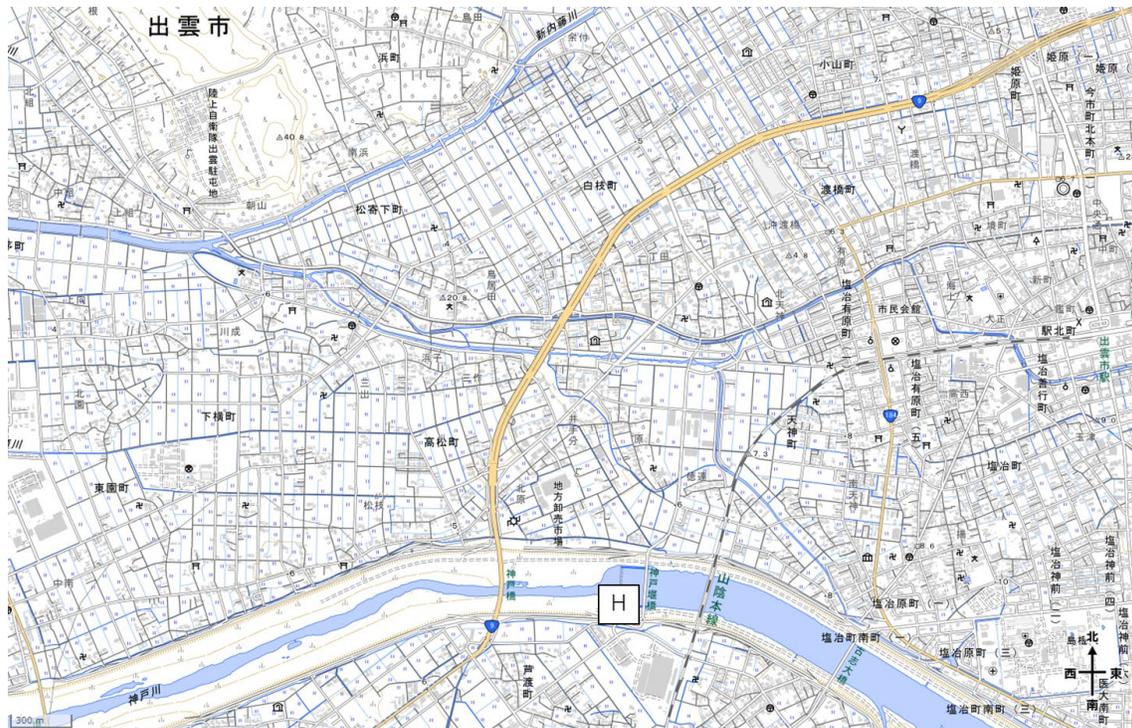


図2 今回紹介する施設・場所（その2）